

今月の寺ともさんは、太田下町の高松訪問看護ステーション所長の長内さんです。訪問看護は、在宅で医療的なケアが必要な方が過ごせるよう支えるお仕事です。

長内さんが、訪問看護に携わって約30年になられます。そのキツカケは、当時入院していたご夫君から「今日は体調が悪いから、見舞いに子どもたちを連れて来ないでほしい」と、小学校から帰った子供たちを連れての見舞いが日課だった頃、リクエストがありました。

それに応じて、子供たちを連れて行かず、ひな祭りの日にお見舞いに行こうねと約束していたところ、三月三日はご夫君のお葬式になったのでした。お家で療養していたら、時間など気にすることなく家族と過ごせたという思いから訪問看護の世界に入られました。訪問看護で大事なものは、一軒一軒のお家の方と相談しながら関係性を築く点だと語って下さいました。



長内さんの愛読書であり、皆さんにおススメの一冊です

利用者さんのご自宅でケアの提供を行う際にも、看護師の自己満足にならぬ様、様々な事について話し合いを持ちます。利用者さんやご家族に、訪問に来てもらって良かったと思っ頂いてこそその訪問看護だと肝に銘じてもらえるからです。

ご自身は、穏やかに対応する事を心掛け、応対されながら丸く一生を終わりたいと思っております。そのためには、日々発する言葉を大切にする必要が、支える方と支えられる双方にあると教えて下さいます。ご自宅に伺った時、安堵の表情で利用者さんとその家族が待っていて下さるのを見るのが一番のやりがいだそうです。まちのちいさな保健室も、よろしく願います。

ご自慢のペットちゃん

名前…まる
種類…茶トラ
好物…マグロのチユール
性別…♂
お年…2歳半
住所…高松市 鴨さん宅
性格…やんちゃでビビリ
苦手…大きい音



エピソード…生まれて間もなく、目も開いていない頃、カラスに尻尾をつつかれていたところを、車で通りがかった鴨さんが保護し、動物病院へ連れて行つたのがまるです。目が丸つこののでまると名付けたそうです。自宅に戻ると、玄関までダッシュしてお迎えに来てくれます。よく窓から外を眺めています。

総代さん便り

総代の川崎です。今年の夏は気温が35度を超える猛暑が続き、連日熱中症警戒アラートが発せられました。

近年、夏の暑さが毎年増してきています。全国的には水不足が深刻な地域がある報道がなされていますが、今年の香川はまだ水不足にはならず、田んぼの稲も順調に育っています。

ただ、高温障害による白濁米の増加など品質の低下が心配されます。そんな中、朝夕には虫の声も聞こえだしました。後1か月余りで稲刈りを迎えます。米不足の解消が期待されますし、おいしい新米を待ちたいと思います。

物価高騰や政治的な停滞・混乱で厳しい暮らしが続いていますが、門信徒の皆様、健康に気を付けてお過ごしください。

